

12月

まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上二之町 44-4
電話&FAX 0577-33-5282
hompotakayamashishouren.net

YY 掲示板 ネット討論など ドリーミンオフィシャルサイト ★<http://www.takayamashishouren.net/d/>

親世代から子世代・孫世代へ引き継ぐ 心意気

市民活動暦 47年 惜みないエールを ありがとうございます

11月26日土曜日夜、まちづくりの集いやいろいろな分野の講演会によく顔を出しておられた堀井まちさん(馬場町)が急逝されました。多くの方がその訃報を知ったのは、お通夜も葬儀も終わった月曜日の午後から夜にかけてでした。数日前から風邪がみでご家族と一緒に夕食をとられたあと、突然の心筋梗塞で倒られられそのまま亡くなられたとのこと。85歳でした。

9月にご主人を見送られ、二週間前には、ひだまりの会のグリーンケアの集いにお友達と参加され、穏やかに座っておられる姿がありました。26日の朝もきつといつもと同じように新聞に目をとおされ、一日をすごされていたことでしょう。

私たちは涙する間もなく、日常生活に戻っていますが、いつも惜みなく若い世代を応援する声かけをして下さっていたまちさんにならない、世代を超えたかかわりを大切にしていきたいと思えます。



●活動を始められたきっかけを語られたインタビューから (P-time121号より一部抜粋)

馬場町に引越して、なにもわからんまま昭和33年、いきなり婦人会支部長をやるようにといわれた。その4~5年前から生活学校がはじまっていて、その代表が10歳年上の橋本ひなさんでした。

生活学校は「婦人会」とは別に、岐阜に消費生活の勉強会をする学校ができたという情報があった時、高山も遅れんようにと橋本さんがたちあげ、わたしは「かばん持ち」で走り回ったの(笑)。勉強会は市役所(現、市政記念館)や、荒物屋だったえび坂下の富士屋さん。障子貼りや、障子の骨の補修などは専門家を呼んでやりました。活動資金があるので不用品交換もやりました。このときも富士屋さんで、売れ残り品を、いっぱい車に載せてきて下さってありがたかったなあ。

小中学校にボールを寄付することもできたり、老人ホームにも寄付できました。文化会館を作るとき(昭和58年完成)には資金の足しにということで、「ちふれ化粧品」をたくさん売りました。婦人會も自由に使える会館がほしかったのでみんなでがんばらんかと。えらかったけど楽しかったですなあ。



*P-time121号をご覧になりたい方は、18日(日)のフォーラム会場(市役所)でお手にとってご覧下さい。

..... 感謝とともに、こころよりご冥福をお祈りしています (メールで寄せられた追悼の声より)

●突然の訃報に悲しすぎます。まちさんには、まち研のスタートから9年間本当に可愛がっていただきました。私が手術をし退院した時も「あなたはもっと生きとってもらわなんのやで」と励まされたものです。大騒ぎをする間もなく、訃報が伝えられるのもまちさんらしいかもしれません。(行政職員)

●私たちの大先輩が旅立っていられましたね。それにしても、まちさんらしい旅立ちだなあと、最後まで私たちにしゃんとした後姿を見せて下さったようで、心打たれました。(活動市民)

●私も驚きと悲しみに市民時報の訃報を知りました。今でも、あの歩き方や、かっかっかと笑いながら話されるカワイイお姿が眼に浮かびます。(福祉公社職員)

●まちさんらしい元気なご逝去だったのですね。今まで目標にしていた「まちさんみたいに元気に生きたい」に更に続けて「まちさんみたいに元気に逝きたい」を加えたい。思い出話がしめっぽくならないところが、さすが。脳みそが柔らかくて、好奇心が旺盛で、可愛かったまちさん、ありがとうございます。私達に向かってあの笑顔であの声で「みなさん、そしゃ、あばな」って。
(地球と暮らしを考える会代表)

●まちさんは、女性がそとにでられるのは、婦人會ぐらいという時代、生活学校をたちあげる推進力になられたおひとりでした。七十代でなお、爽快でおしゃれ、あちこちの講演会、活動でよく姿をお見かけしました。

まだ三十代だった私達のよき味方、よき理解者、応援団でした。よちよち歩きの活動の情報誌をいつも持ち歩き、「これを読まん時代におくれるよ」とあちこち手渡ししてくださいました。おしめないエールをいつも送ってくださいどれだけ勇気がわいたことでしょう。

まちさん登場のP-time再刊一号も「冥土へ持っていきまっさ」と手放しで喜んでくださいました。志はいつもいっしょだったと、今さらのように思い至ります。

ところで、まちさん、肝心のお話、「老後をどうのこうのということ」をお聞きするのを忘れてました!「そういや、老後を考えているまがなかったんやさ、ははは」天国からの声が聞こえてくるようです。

当分、街の中にまちさんの姿をさがしそうです。
(まち・ひとを紡ぐP-time編集・発行人)

冬のあったか系録日

まちづくり交流フォーラム'05 であいから ひろがりへ

平成17年12月18日(日)

午前10時～午後3時半

高山市役所庁舎(花岡町)
地下・1階・2階・3階の各会場

午後だけでも
ちょっとだけ
でもOK。ご来
場をお待ちし
ています。

小春日和の縁側のような一日を、こどももおとなもいっしょに
過ごして楽しみましょう。ここでは、平凡な日常やいつもの活動が、
ひょいと飛びだしてずらりとならぶ縁日のだしもの。

昨日より今日、今日より明日がもっと楽しいよ！私たちのまち、I♥TAKAYAMA!! あそびに来てね。



●地球のステージ3～国境なき大地～

ステージ1・2章を経て、いのち奥深さを伝える最終章

1月15日(日) 時間:午後1時半(開場12時半)

場所:高山別院庫裡ホール

演者:桑山紀彦さん(高山市出身)

入場券:500円 中学生以下無料

券販売所:かんかこかん(まちづくり本舗33-5282)・あんきや・高山別院

主催:10周年「地球のステージ」実行委員会

共催:NPO法人地球のステージ・真宗大谷派高山教区仏教育年会・ひだまりの会

りんくるりん 二十四日市

参加者募集中!

まちづくり本舗まで

飛騨の伝統的行事である二十四日市を、「まち・人・情報の出会いの場」にしようと市民企画の二十四日市を数年前から開催しています。飛騨に住んでいる人たちの活気が感じられる一日です。

「二十四日市」は物語る

むかしもむかし 江戸の時代
山里の人びとは
お正月をむかえるその前に
飛騨の中心 高山のまちに集まってきました
手づくりの日用道具を売って
現金を得るためです
そうした商いのひろばは
上二之町にはじまり 安川通り 本町へと移り
今では冬の風物詩として観光客の心もさそいます
ものが豊かになるとともに
先だつものはまずお金という今の時代
お金のねうちも くらし方も 時間の感覚も
すっかりさまざま変わりましたかのようです
それでも昔と変わることなく
二十四日市に息づいているものは
近郊から人びとが雰囲気を求めて訪れる伝統
知り合いに会える予感 語らいのたのしみ
今も昔もこれからも
二十四日市は
雪の季節のほっこりとした
出会いのひろば

〔市民がひもとく
二十四日市より〕

教えて協子さん その⑦
協働のまちづくりで
欠かせない
ことは?

交流の場で
つながるイメージを
かたちにする

まちづくり本舗編集ハンドブック
『地域暮らし読本、協働のまちづ
くりのしくみづくり』より

協働して何かのことをやりたい団体や思いがあっても、
その思いを「つながり」にまで持っていく場や機会があり
ません。立場や分野に関らず、参加できるようなものがあ
ったらいいと思います。(つながってる実感がほしいGさん)

◎協働のまちづくりの流れ その4

高山において、協働のまちづくりを考えると3つの
動きは欠かせません。それは「まちづくり交流フォー
ラム」、「りんくるりん納涼縁日」、「りんくるりん二十四日市」
です。何十団体もの市民活動団体が協力し合いそれぞれの
得意な方法、内容を企画し表現したことも貴重ですが、そ
の会場が「まちづくり交流フォーラム」では市庁舎を丸ご
と借り切ったような状態での取り組み、「りんくるりん納
涼縁日」「りんくるりん二十四日市」では商店街通りの歩
行者天国イベントを活用しての取り組み。市庁舎をこのよ
うな形で提供するのはめずらしいでしょうし、そして商店
街に市民がやりたいことや得意なことを持ち寄っての集
う手づくり感覚は特筆すべき事業です。

今までにそれぞれ3回ずつ開催されましたが協働のま
ちづくりの象徴として継続していきたいものです。もちろ
ん、その原点には「福祉まつり」や「こどもまつり」など
の積み重ねがあったからこそ実現しているのはもちろん
のことですが。

YOU&ME(ゆめ) サロンぱれっと インフォメーション

★男女共同参画社会を
テーマに市民と行政の
協働で運営する「ぱれ
っと」からのお知らせ
提 供:ぱれっと倶楽部
問合せ:0577-35-3134
市役所企画課

★12月22日(木)DV(ドメスティック・バイオレンス)を考えるシリーズ② 「カナダの先住民への暴力とDV」

DVは、女性であるがゆえに受ける暴力。DVに詳しい
「いいお産を考える会」代表大沼れい子さんと、自分で気付いてい
ない自分たちの思いを語り合います。

★1月12日(木)DVを考えるシリーズ③

「成長過程にあわせた性教育とDV」

子どもの成長と自分自身を守るために、性教育は大切ですが、
子どもたちにどう伝えたらいいか悩んでみませんか。助産師の
桜井幸子さんをお招きして、成長過程にあわせた性教育につい
て、一緒に考えませんか。

●金曜『産直やさしい市』は23日(11時～1時)が最終日です。

1月～3月は屋内コーナーにて豆類・雑穀を販売します。
野菜は4月からとなります。野菜ひろば 0577-33-5282

●かんかこかんぎゃりー ご利用いただけます 加賀平介さんの「ユーロッパノ風景」写真展示中!

●ミニキャンドル付きクリスマス飾り作りが好評 <無料>

木の実をのせて小物いろいろ、こどもから大人
までどなたでも作れます。 こどもひろば 0577-33-5055

※年末年始日程 28日大掃除 29日～3日まで休館します。

かんかこかん
いなまのしん

まちひとぶら座
かんかこかん
開館時間
10時～5時